

管内経済情勢報告(平成31年1月)

～管内経済は、拡大している～



【総括判断】

前回(30年10月判断)	今回(31年1月判断)	前回比較
拡大している	拡大している	→

(注) 31年1月判断は、前回30年10月判断以降、31年1月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

【財務部】

NO.2

(判断の要点)

個人消費は、百貨店・スーパーの販売額が前年を上回っているほか、コンビニエンスストアの販売額も堅調に推移するなど、拡大している。観光は、入域観光客数が増加するなど、拡大している。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移しているなど、改善している。

先行き

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、沖縄振興策などを背景として景気が拡大していくことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外景気の下振れリスク、為替、労働力需給の動向などについて留意する必要がある。

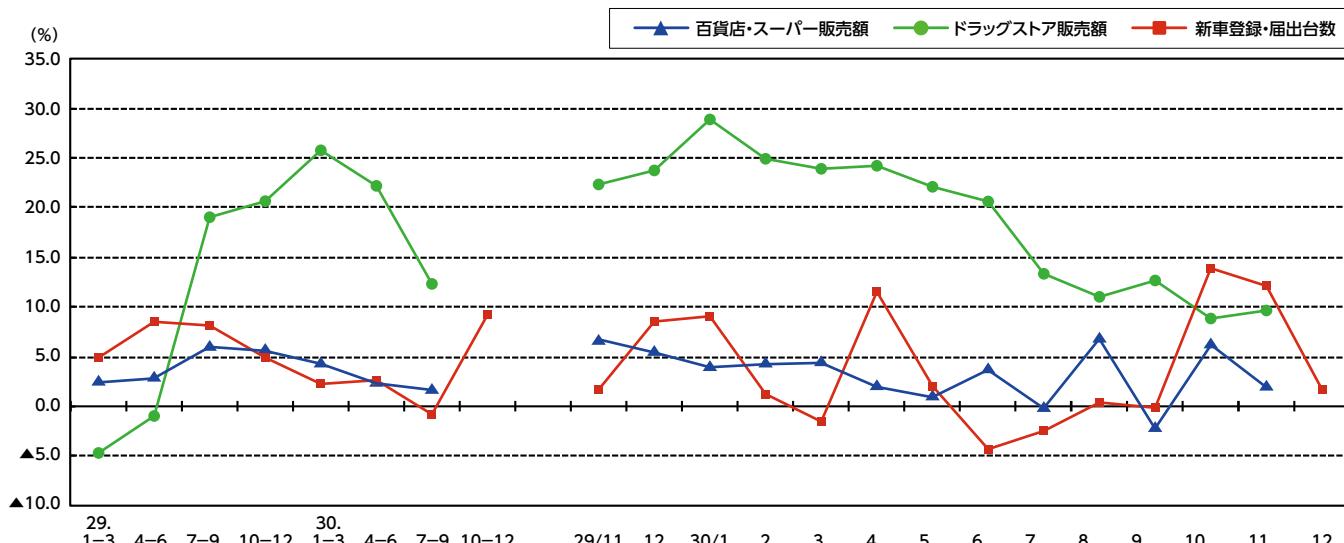
【各項目の判断】

個人消費

前回(30年10月判断)	今回(31年1月判断)	前回比較
拡大している	拡大している	→

百貨店・スーパー販売額は、新規出店効果などから前年を上回っている。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果のほか、米飯類や飲料が堅調なことなどから前年を上回っている。ドラッグストア販売額は、医薬品や化粧品などが好調であることから前年を上回っている。新車販売台数は、新型車効果などから前年を上回っている。中古車販売台数は、販売促進効果などから前年を上回っている。家電販売額は、4Kテレビなどが好調であることから前年を上回っている。このように、個人消費は拡大している。

○百貨店・スーパー販売額、ドラッグストア販売額、新車登録・届出台数(前年比)



(資料) 百貨店・スーパー販売額及びドラッグストア販売額：経済産業省、沖縄総合事務局、新車登録・届出台数：沖縄県自動車販売協会

(注1) 百貨店・スーパー販売額及びドラッグストア販売額は全店ベース。

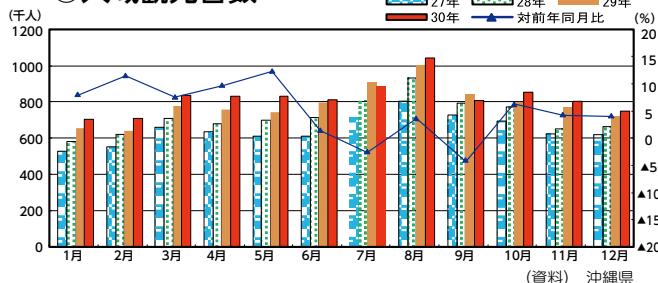
(注2) 新車登録・届出台数はレンタカー除く。

観光

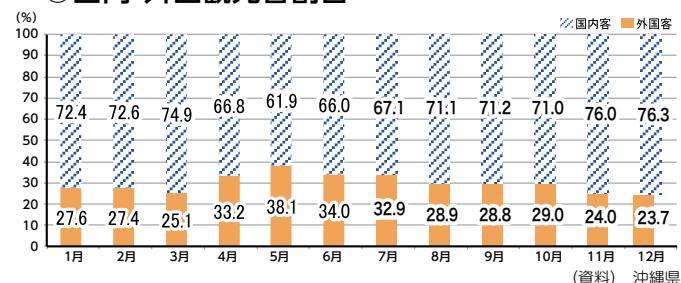
前回(30年10月判断)	今回(31年1月判断)	前回比較
拡大のテンポが緩やかになっている	拡大している	↗

入域観光客数は、国内客が個人旅行需要や一般団体旅行などの団体需要により増加しており、外国客はクルーズ船の寄港数は減少したものの、航空路線拡充などにより増加している。ホテルの客室単価は前年と同水準となつておらず、客室稼働率は前年を上回っている。このように、観光は拡大している。

○入域観光客数



○国内・外国観光客割合(30年1月～30年12月)



雇用情勢

前回(30年10月判断)

今回(31年1月判断)

改善している

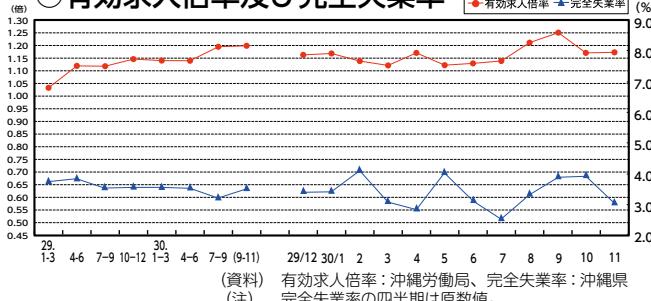
前回比較

改善している

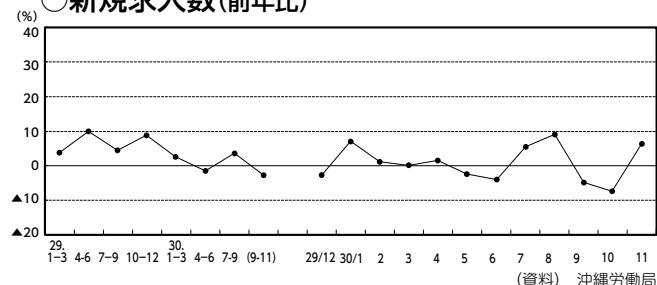


有効求人倍率は高水準で推移している。新規求人数、新規求職者数(新規求職申込件数)ともに前年を下回っている。雇用保険受給者実人員は前年を下回っている。このように、雇用情勢は改善している。

○有効求人倍率及び完全失業率



○新規求人数(前年比)



【その他の項目の判断】

設備投資



「30年度は前年度を上回る見込み」(全産業)『法人企業景気予測調査』30年10～12月期

○製造業は、窯業・土石などで減少するものの、食料品などで増加することから、全体では前年度を24.2%上回る見込みとなっている。

○非製造業は、運輸・郵便・卸売・小売などで減少するものの、サービスなどで増加することから、全体では前年度を1.9%上回る見込みとなっている。

企業収益



「30年度は減益見込み」(全産業)『法人企業景気予測調査』30年10～12月期

○製造業では、窯業・土石などが減益となることから、全体で15.7%の減益見込みとなっている。

○非製造業では、情報通信などが増益となるものの、運輸・郵便・卸売・小売などが減益となることから、全体で4.1%の減益見込みとなっている。

企業の景況感



「現状判断は「上昇」超幅が拡大、先行きは「上昇」超幅が拡大後、「上昇」と「下降」の均衡となる見通し」(全産業)『法人企業景気予測調査』30年10～12月期

○企業の景況判断BSIは、全産業では、「上昇」超幅が拡大している。先行きは、「上昇」超幅が拡大後、「上昇」と「下降」の均衡となる見通しとなっている。

住宅建設



「前年を下回っている」

○新設住宅着工戸数は、貸家で前年を上回っているものの、持家、分譲で前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

公共事業



「前年を下回っている」

○公共工事前払金保証請負額(30年4～12月累計)は、前年を下回っている。

生産活動



「緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる」

○金属製品は前年を上回っているものの、食料品、窯業・土石、化学・石油製品は前年を下回っている。このように、生産活動は緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる。